【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和4年11月25日(2022.11.25)

【国際公開番号】WO2022/059100
【出願番号】特願2022-550098(P2022-550098)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　7/007(2006.01)
Ｆ２４Ｆ 11/77(2018.01)
Ｆ２４Ｆ 11/80(2018.01)
Ｆ２４Ｆ 11/52(2018.01)
Ｆ２４Ｆ110/10(2018.01)
Ｆ２４Ｆ120/10(2018.01)
Ｆ２４Ｆ110/40(2018.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　7/007　　Ｂ
Ｆ２４Ｆ 11/77
Ｆ２４Ｆ 11/80
Ｆ２４Ｆ 11/52
Ｆ２４Ｆ110:10
Ｆ２４Ｆ120:10
Ｆ２４Ｆ110:40

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月22日(2022.9.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上記目的を達成するため、本開示に係る制御装置は、
建物内の換気を行う換気手段を制御する制御装置であって、
前記建物内の空調を行う空調手段によって暖房運転が行われていない場合、規定の最低限の換気回数である必要換気回数に相当する第１換気量で運転するよう前記換気手段を制御し、前記空調手段によって暖房運転が行われている場合、前記第１換気量から、自然換気回数に相当する換気量である自然換気量を差し引いた第２換気量で運転するよう前記換気手段を制御する換気制御手段を備える。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
建物内の換気を行う換気手段を制御する制御装置であって、
前記建物内の空調を行う空調手段によって暖房運転が行われていない場合、規定の最低限の換気回数である必要換気回数に相当する第１換気量で運転するよう前記換気手段を制御し、前記空調手段によって暖房運転が行われている場合、前記第１換気量から、自然換気回数に相当する換気量である自然換気量を差し引いた第２換気量で運転するよう前記換

気手段を制御する換気制御手段を備える、制御装置。
【請求項２】
前記換気制御手段は、前記空調手段によって暖房運転が行われている場合において、前記空調手段がサーモオフ時の場合に限り、前記第２換気量で運転するよう前記換気手段を制御する、請求項１に記載の制御装置。
【請求項３】
前記換気制御手段は、前記空調手段によって暖房運転が行われている場合において、前記空調手段がデフロスト時の場合に限り、前記第２換気量で運転するよう前記換気手段を制御する、請求項１に記載の制御装置。
【請求項４】
前記空調手段によって暖房運転が行われている場合に前記空調手段が設置されている部屋の在室人数を取得する在室人数取得手段をさらに備え、
前記取得された在室人数に基づいて定まる必要換気量が前記第１換気量を超えた場合、前記換気制御手段は、前記必要換気量から前記自然換気量を差し引いた換気量である第３換気量で運転するよう前記換気手段を制御する、請求項１から３の何れか１項に記載の制御装置。
【請求項５】
前記換気制御手段は、前記建物内の気圧と外気との気圧差に基づいて前記建物内における気密性の指標を推定し、前記推定した指標に基づいて前記自然換気回数を設定する、請求項１から４の何れか１項に記載の制御装置。
【請求項６】
建物内の換気を行う換気手段を制御する制御装置であって、
前記建物内の空調を行う空調手段によって暖房運転が行われていない場合、第１換気量で運転するよう前記換気手段を制御し、前記空調手段によって暖房運転が行われている場合において、当該暖房運転が開始されてから前記建物内の空気温度が設定温度に到達するまでの間は、前記第１換気量より小さい第２換気量で運転するよう前記換気手段を制御し、前記空気温度が前記設定温度に到達した後は、前記第１換気量で運転するよう前記換気手段を制御する換気制御手段を備える、制御装置。
【請求項７】
前記空調手段を制御する空調制御手段をさらに備え、
前記空調制御手段は、前記換気手段の換気風量に基づいて前記空調手段の設定温度を変更する、請求項１から６の何れか１項に記載の制御装置。
【請求項８】
前記換気手段の運転に関する情報をユーザに通知する通知手段をさらに備える、請求項１から７の何れか１項に記載の制御装置。
【請求項９】
請求項１から８の何れか１項に記載の制御装置と、
前記換気手段と、
前記空調手段と、を備える、換気システム。
【請求項１０】
請求項１から８の何れか１項に記載の制御装置と、
前記換気手段と、
前記空調手段と、を備える、空調装置。
【請求項１１】
建物内の空調を行う空調手段によって暖房運転が行われていない場合、規定の最低限の換気回数である必要換気回数に相当する第１換気量で運転するよう前記建物内の換気を行う換気手段を制御し、前記空調手段によって暖房運転が行われている場合、前記第１換気量から、自然換気回数に相当する換気量である自然換気量を差し引いた第２換気量で運転するよう前記換気手段を制御する、換気制御方法。
【請求項１２】

建物内の空調を行う空調手段によって暖房運転が行われていない場合、第１換気量で運転するよう前記建物内の換気を行う換気手段を制御し、前記空調手段によって暖房運転が行われている場合において、当該暖房運転が開始されてから前記建物内の空気温度が設定温度に到達するまでの間は、前記第１換気量より小さい第２換気量で運転するよう前記換気手段を制御し、前記空気温度が前記設定温度に到達した後は、前記第１換気量で運転するよう前記換気手段を制御する、換気制御方法。

【請求項１３】

コンピュータを、

建物内の空調を行う空調手段によって暖房運転が行われていない場合、規定の最低限の換気回数である必要換気回数に相当する第１換気量で運転するよう前記建物内の換気を行う換気手段を制御し、前記空調手段によって暖房運転が行われている場合、前記第１換気量から、自然換気回数に相当する換気量である自然換気量を差し引いた第２換気量で運転するよう前記換気手段を制御する換気制御手段として機能させる、プログラム。

【請求項１４】

コンピュータを、

建物内の空調を行う空調手段によって暖房運転が行われていない場合、第１換気量で運転するよう前記建物内の換気を行う換気手段を制御し、前記空調手段によって暖房運転が行われている場合において、当該暖房運転が開始されてから前記建物内の空気温度が設定温度に到達するまでの間は、前記第１換気量より小さい第２換気量で運転するよう前記換気手段を制御し、前記空気温度が前記設定温度に到達した後は、前記第１換気量で運転するよう前記換気手段を制御する換気制御手段として機能させる、プログラム。